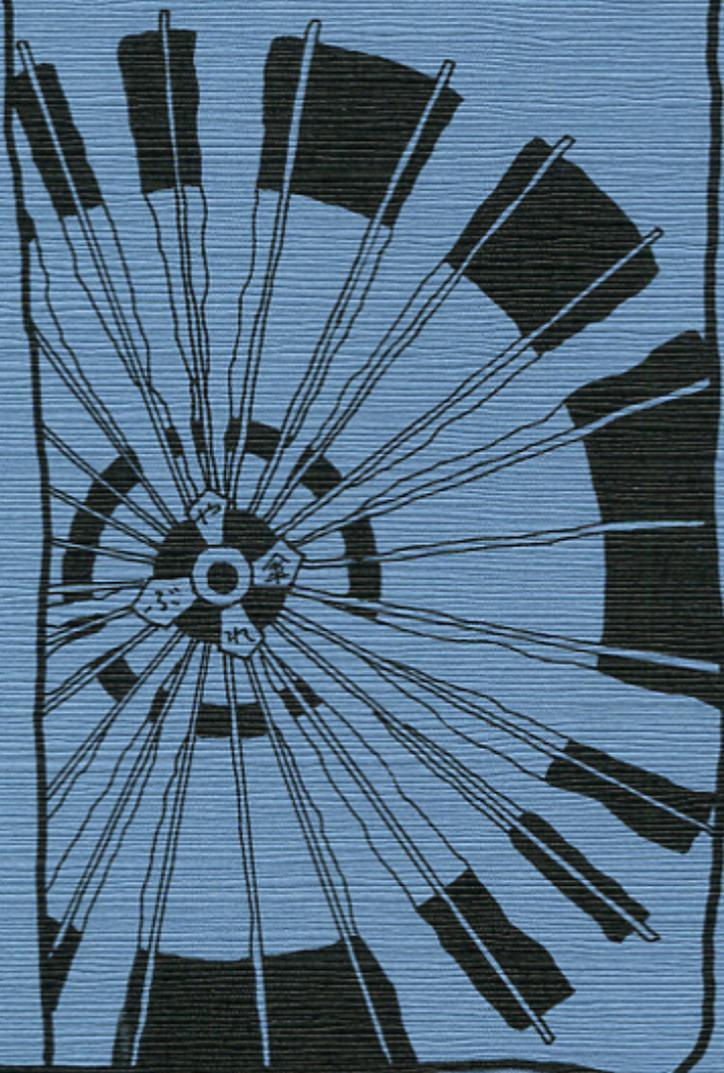


やぶれ傘



六十七号

二〇二二年八月

ミニチュアの刀の柄に夜店の灯  
 雲の峰崩れて川の暮れにけり  
 サイダーの泡鼻先に弾けたり  
 鶏舎より鶏のざわめき立葵  
 陽の中の野薊の花湿り濃く  
 海に出て鎌倉の樟青葉かな  
 朝晴れの庭一杯に干瓢乾す  
 散水車赤信号に停まりけり  
 風に雨意鯉の口寄る蛭蓆  
 鴉の影よぎる中州や日の盛り  
 一反の水田に映る五月かな  
 桑の実や川の流れに雨のまた  
 通り過ぐ人白薔薇を誉めてゆく  
 峰入りは銅かねの鳥居をくぐりけり  
 山宿のテラスのランチ風薫る

根橋宏次  
 廣瀬雅男  
 きくちきみえ  
 大島英昭  
 白石正躬  
 藤井美晴  
 丑久保勲  
 瀬島洒望  
 安藤久美子  
 國保八江  
 渡邊孝彦  
 天野美登里  
 久世孝雄  
 有賀昌子  
 佐竹千代

抄 集 句 選 夫 紀 傘 大 崎 ぶ れ や

放されし若鮎暫し橋の下  
 黴の香や父の勲章捨て切れず  
 母の忌の里の夕餉や遠蛙  
 川風を受けて鮎飯こそげとる  
 椎落葉神社の隅に三角点  
 手の指の開かずなりけり夏稽古  
 カーネーション手向けてありし交差点  
 行く春や鼓のひびく能舞台  
 山法師明るき雨となりにけり  
 紫陽花や画材の匂ふ写生会  
 蜘蛛の囀にかかる木の葉のあをさかな  
 「染物屋」の文字の薄れし軒菖蒲  
 牛にやる青草つかみ休みの子  
 雲海の阿蘇の五岳を覆ひたり  
 梅雨晴れや煉瓦を崩すドリル音

武石京子  
 武田紀久  
 都丸スミ代  
 野口朝世  
 広瀬 濟  
 松村光典  
 松本善一  
 森美佐子  
 浅嶋 肇  
 岡田香緒里  
 奥田温子  
 上林富子  
 菊地葉子  
 小池一司  
 小山陽子

油照り

大崎紀夫

股下を風の吹きゆく野蒜摘み  
雲行けり雀の槍に寝転べば  
鶏小屋の鶏鳴き椎のにほひけり  
冷し汁日向の海の暮れゆくを  
宵宮の提灯の家つづきけり

尊池より道濡れて続きけり  
竹皮を脱ぐ音のして亭午なり  
麦笛を吹いて畑のはづれまで  
揚げ舟の下に猫ゐる油照り  
まだらなす雲は海より夏薊  
空席の灼けたるままに終点へ  
役場支所そばに飛魚干し場かな

山葵の花

根橋宏次

じやがいもの花にひと雨きたりけり  
郭公や橋のアーチに楔石  
八寸の山葵の花のにほひけり  
土埃たてて雨くる立葵  
あめんぼの来てゐる道の水たまり  
門口に鮎屋の桶や立葵  
傘さして未央柳のあたりまで  
青柿や木舞ののぞく納屋の壁  
滑菟轍は畑にゆきどまり  
ミニチュアの刀の柄に夜店の灯

雲の峰

廣瀬雅男

新緑の谷へバンジージャンプかな  
暁の空へと咲けり橡の花  
峠茶屋山女焼く串突き立てる  
街道の戸毎に咲けり栗の花  
畳屋の天水桶の目高かな  
チエンソーの音途切れけり時鳥  
山頂の駅に降り立つ夏帽子  
客のみな触るる花屋のおじぎ草  
雲の峰崩れて川の暮れにけり  
睡蓮や雨止むらしき空の色

青  
梅

きくちきみえ

トタン屋根に猫ゐて眠る五月かな  
抜け道にみかんは花を落としけり  
内側の白き茶碗や豆の飯  
さくらんぼ柄のうごきだす口の先  
青梅は葉蔭に風は葉表に  
十葉や鳩の五六羽雀二羽  
大穴に粘土の地層梅雨に入る  
老鶯のひと鳴き夜の白みけり  
サイダーの泡鼻先に弾けたり  
噴水の音を変へたる高さかな

荒梅雨

大島英昭

隈笹を割つて坂みち暮の春  
竹林の蔭を濃くせり鯉のぼり  
鶏舎より鶏のざわめき立葵  
大椎の茂りや鳩のこゑとほく  
梅雨入りや埃溜めたる仁王像  
クレマチス市営循環バス止まる  
荒梅雨や雲の切れ目の白き雲  
鳥居より天神どほり梅雨深し  
操業の音梅雨晴れの鉄工所  
さざ波にかげのありけり半夏生草

セスナ機

丑久保勲

低くゆくセスナ機の音青き踏む  
入口にひと鉢を置く牡丹園  
柿芽吹く二階の窓の目の高さ  
雨粒の八つ手若葉を打ちにけり  
老鶯のこゑ室生寺の最寄り駅  
隙間なき定家葛のフェンスかな  
ほととぎす隣りの寺へ移りけり  
足元のせまき八橋花菖蒲  
杜青葉まづ左手に柄杓持つ  
朝晴れの庭一杯に干瓢乾す

散水車

瀬島洒望

葱坊主フェンスの先は滑走路  
山内に並ぶ塔頭松の花  
花曇り神保町に紙の店  
紅色の病葉もんじょかん文書館裏に  
薫風に綿飴の綿飛びにけり  
窓明けにけり茉莉花の香の中に  
小港に浜屋顔の咲くところ  
店裏に並ぶ土蔵や初燕  
銚蔵は屋敷の庭に山法師  
散水車赤信号に停まりけり

## ◇ 9月・10月の句会案内

月	日	時	句会名	会 場	連絡先
9月	4日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	4日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	5日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	7日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	7日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	15日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤 井 美 晴
	22日(土)	AM10:00	楽 天 会	中央公民館	廣 瀬 雅 男
	23日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	26日(水)	PM6:00	三 斗 会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
10月	1日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	2日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	2日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	5日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	5日(金)	PM6:00	なごみ会	さいたま市民会館	丑久保 勲
	20日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤 井 美 晴
	21日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	さいたま市・見沼	丑久保 勲
	24日(水)	PM6:00	三 斗 会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	27日(土)	AM10:00	楽 天 会	中央公民館	廣 瀬 雅 男
	28日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

10月5日(金)の句会場は「さいたま市民会館うらわ」505号室。

ロイヤルバイズホテルの裏。

10月21日(日)の吟行。集合は10時。JR京浜東北線北浦和駅改札口。

句会場「さいたま市民会館うらわ」605号室。

◎ 連絡先 瀬 島 孟 ☎ 048-862-2757 藤 井 美 晴 ☎ 0422-55-2733  
 大 島 英 昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870  
 廣 瀬 雅 男 ☎ 048-443-7522 浦和コミセン ☎ 048-887-6565  
 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ